



富山大学ダイバーシティ推進センター

【対象：性別問わず】

令和7年度 研究サポーター制度 公募要項

1. 趣旨

富山大学(以下「本学」という。)に所属する研究者の教育・研究活動と、育児や介護等との両立を支援することを目的とし、研究サポーターを配置するための費用を補助する。

2. 申請者資格

本学に在籍する研究者で、中学校入学前までの子を養育している、または家族の介護等を行っている者、もしくは妊娠中の女性研究者

3. 助成額

1件あたり 上限 50,000円 採択件数 10件程度

※ダイバーシティ推進センターの予算範囲内において補助するため、令和7年度予算の配分状況により、申請額の全額を補助できない場合がある。

※使途の制限がない研究費等の予算であれば、合算して使用することができる。

4. 補助対象および使途

- ・採択者が指定する研究サポーターに支払う研究補助謝金(専門的知識必要なし)等
(1時間あたり 1,000円×50時間を上限とする。)
- ・上記と異なる謝金単価(例:専門知識ありの研究補助謝金等)とする場合は、上限額の範囲内とする。
- ・研究サポーターは、本学学生、大学院生等とする。
- ・研究サポーターは、研究補助、データ集計、学会発表準備、授業の準備等を行うものとする。

5. 助成期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日までとする。

※研究サポーターは、当該期間内に業務を実施すること。

6. 申請方法

所定の利用申請書(様式第1号)に必要事項を記載し、Form添付にて送付すること。なお、審査に必要と思われる各種証明書等の提出を求める場合がある。

申請用Form URL: <https://forms.office.com/r/0Ngv1BP08a>

7. 申請締切

令和7年3月19日(水) 17:00 厳守

8. その他

- ・ダイバーシティ推進センターにおいて採否を決定後、申請者に通知のうえ、採択者に予算振替を行う。
- ・採択者は、謝金支給基準のほか、学内会計規則等に従い研究サポーターに謝金を支払う。
- ・採択者は、研究サポーターの業務終了後、速やかに利用実績報告書(様式第2号)および謝金業務実施確認書(写)をメール添付にて送付する。残額が生じた場合は、返還するものとする。
- ・申請内容に変更が生じた場合や、予定通りに予算執行ができないと判明した場合は、速やかにダイバーシティ推進センターに申し出るものとする。

9. 問合せ先

富山大学ダイバーシティ推進センター

E-mail :smart@ctg.u-toyama.ac.jp

TEL :076-445-6146、6239